

# ひらつか・おおいそ ごみ減量化 フォーラム を開催

環境問題が深刻化する中、ごみの減量化・資源化は大変重要な課題となっております。

「なぜ、ごみの減量化が必要なのか」、「資源化の重要性は何か」などいっしょに考えませんか。

また、現在取り組んでいるごみ処理広域化の方向なども考えるイベントです。

- ▼とき 3月23日(火)  
13時30分～15時30分
- ▼ところ 平塚市中央公民館
- ▼内容
  - ・ごみ減量化に関する講演会
  - ・パネルディスカッション
- ▼参加費 無料
- ▼その他 直接会場にお越しください。
- ▼主催 1市1町ごみ処理広域  
化推進会議

◎問い合わせ  
環境経済課 ☎内線359

## バイオマスタウン構想が国(農林水産省)より公表されました

### バイオマスとは

「バイオマス」は動植物から生まれた再生可能な有機資源です。代表的なものに、家畜排せつ物や生ごみ、木くず、もみ殻などがあります。

### ○廃棄物系バイオマス

生ごみ(一般廃棄物)  
廃食用油  
紙ごみ

剪定枝

し尿汚泥

家畜排せつ物

### ○未利用バイオマス

農業廃棄物(稲わら、野菜未  
利用部など)  
漁業廃棄物(魚のあらなど)

### バイオマスタウンとは

域内において、広く地域の関係者の連携の下、バイオマスの発生から利用までが効率的なプロセスで結ばれた総合的利活用システムが構築され、安定的かつ適正なバイオマス利活用が行われているか、あるいは今後行われることが見込まれる地域のことです。

### どのように実現するの?

市町村が中心となって、地域のバイオマス利用の全体プラン

「バイオマスタウン構想」を作成し、その実現に向けて取り組みを進めます。

構想に基づく事業の実施には国からの交付金を受けることができます。

### 大磯町バイオマスタウン構想

町では、ごみの減量化・資源化を進めるため、バイオマスタウン構想の策定を進めてまいりました。このたび構想がまとまり、本年1月29日に農林水産省により公表されました。神奈川県内では、三浦市が平成17年3月に構想を策定しており、県内で2番目の構想策定となりました。

今回の公表により、全国で24地区、225市町村でバイオマスタウン構想が策定されたこととなります。

本構想では、バイオマスとして、生ごみ、廃食用油、紙ごみ、剪定枝、し尿汚泥、家畜排せつ物、農業廃棄物の利活用を進めることとしています。

### 民間活用

本構想でのバイオマスの利活用は、民間活用も検討しており、今後、バイオマスの利活用によるごみの減量化・資源化、循環型社会の形成、地域産業の

連携と新たな産業創出などの効果が期待されています。

なお、本構想に基づき、民間事業者が事業を行う場合にも国からの交付金を受けることができます。

本構想書は、町ホームページでも公表しております。

<http://www.town.oiso.kanagawa>

[http://kurashi/kaninkyu\\_eisei/biomastown.html](http://kurashi/kaninkyu_eisei/biomastown.html)

詳しくは、バイオマス利活用のためのホームページをご覧ください。

<http://www.biomass-hq.jp/biomastown/index.html>

### ◎問い合わせ

環境経済課 ☎内線359

